



令和5年度 久松小学校 グランドデザイン

めざす学校像

- 〇めざす学校像・・・安心・安全で楽しく、活力があり信頼される学校
- ①落ち着いた環境で、生き生きと学習に取り組める学校
 - ②児童一人一人を大切に、明るく活気に満ちた楽しい学校
 - ③礼儀正しく規律のある学校(返礼、立ち止まって挨拶する)
 - ④共に学びあえる学校
 - ⑤児童の成長をめざして、教師・保護者・地域が連携し、信頼される学校

学校教育目標

- かしこく**
よく考え進んで学ぶ子
- やさしく**
思いやりの心を持ち、助け合う子
- たくましく**
健康でたくましい子

めざす教師像

- 〇めざす教師像・・・元気で明るく、信頼される教師
- ①一人一人を大切に、児童のよさや可能性をみつけ伸ばす教師
 - ②明朗で優しさや厳しさと情熱を持って児童に接する教師
 - ③児童と共に汗を流し(師弟同行)、共に行動する教師(率先垂範)
 - ④常に研修と自己研鑽に励む教師
 - ⑤規範意識が高く、危機管理能力を十分持ち合わせている教師
 - ⑥児童や同僚、保護者・地域から信頼される教師

【めざす子ども像】

1 よく考え進んで学ぶ子(かしこく)(知)

- ①めあてを持って、最後まで学習することができる子
- ②課題や問題をよくとらえ、進んで学習することができる子
- ③話をよく聞き、わかったことや自分の考えをまとめたり発表することができる子
- ④授業と関連させながら、計画的に家庭学習をすることができる子
- ⑤読書が好きで、進んで本を読むことができる子

2 思いやりの心で助け合う子(やさしく)(徳)

- ①自他の生命を大切にできる子
- ②みんなと仲良く、協力することができる子
- ③相手の気持ちや立場を理解し、広い心で受け止めることができる子
- ④自分の行動に責任を持ち、他人に迷惑をかける子
- ⑤物を大切にできる子

3 健康でたくましい子(たくましく)(体)

- ①健康と安全に気をつけることができる子
- ②食事・運動・睡眠のバランスを考えて生活することができる子
- ③運動が好きで体力づくりに励むことができる子
- ④交通の安全やまきりを守ることができる子
- ⑤目標に向かって粘り強くやり遂げることができる子
- ⑥明るく礼儀正しい行動ができる子

学校経営目標

「一生懸命がかっこいい アトムっ子」の育成 キーワード：「一生懸命がかっこいい」

スローガン：低学年「元気が一番 一生懸命がかっこいい」

中学年「素直さが一番 一生懸命がかっこいい」

高学年「一生懸命がかっこいい 当たり前はもっとカッコイイ」

本校で育成する資質・能力「**気づき力 共に学ぶ力 生かす力**」

5つの重点目標

【1】確かな学力の向上

- ①主体的対話的で深い学びの実践化
- ②「問い」が生まれる授業サポートガイド等を活用して、児童の主体性を高め、「自立した学習者」育成
- ③久松小中連携「学びの姿」に重点を置いた指導の充実
- ④学級の支持的風土づくり(安心・所属・承認・自立)と学習環境の充実(学習規律、言語環境、教室環境等)
- ⑤授業と連動した宿題及び自立した学習者の育成による家庭学習の充実(がんばりノート・自主学習計画シートの活用等)
- ⑥GIGAスクールへの取組の充実によるスキルの向上と個別最適な学びへの対応

【2】道徳教育の充実

- ①道徳科の時間を要とした教育活動全体を通じた道徳教育の充実
- ②「道徳科」の目指す「考える道徳」「議論する道徳」を重視した道徳教育の推進
- ③道徳教育推進教師を中心に、全校体制による組織的な道徳教育の充実
- ④人権教育の充実
- ⑤いじめへの未然防止、早期発見、早期解決
- ⑥正しい児童理解と教育相談の充実

【3】特別活動の充実

- ①多様な他者と協働する様々な集団活動の意義を理解させ、行動の仕方を身につけさせる。
- ②集団や自己の生活、人間関係の課題を見つけ、話し合い、合意形成・意思決定を目指す。
- ③自主的実践的な集団活動を通して、自己の生き方を考え、自己実現を図る態度を養う。
- ④学級活動の充実：話し合い、合意形成し、生き方を描く。
- ⑤児童会活動の充実：学校生活の充実・向上に向け、自主的・実践的な態度を養う。
- ⑥学校行事の充実：所属感・連帯感・公共の精神を養う。
- ⑦クラブ活動の充実

【4】基本的生活習慣の確立

- ①「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣(遅刻しない)
- ②進んであいさつ・聞こえる返事
- ③はきものそろえ・靴のカカトをつぶさない
- ④助け合い活動(清掃等)
- ⑤言葉遣い(ありがとう・ごめんなさいが使える子)
- ⑥返礼の指導に努める。(停車し道路の横断を優先した運転手さんへは礼をする)

【5】キャリア教育の充実

- ①キャリアパスポートの実践・充実
- ②学ぶ事と自己の将来とのつながりを見通す
- ③社会的・職業的自立の基盤となる資質能力を身につける。
- ④特別活動を要として、キャリア教育を充実させる。

支える力

全校共通実践事項(久松小学校・学びのスタンダード)

- ①学習に必要な持ち物 ②しっかりと話を聞く ③しっかりと考えを伝える ④学習に向かうために

信頼される開かれた学校づくり

- ①学校評価の計画・実施の充実を図る。
- ②学校評価を生かした学校づくりを推進する。
- ③保護者や地域の声の学校経営・運営への反映(学校評議員、学校評価、児童・保護者アンケート等)
- ④学校からの情報発信の強化(学年・学級だより、保健・図書館だより・ブログ、メーリング、立て看板等)
- ⑤社会に開かれた教育課程の推進

(視点1：自己肯定感の高まり、視点2：学び・育ちの実感、視点3：組織的な関わり)

【方策1 日常化する 方策2 そろえる 方策3 支える 方策4 見通す 方策5 つなぐ】

- ⑥各種プロジェクトの推進による魅力ある学校づくりの推進

令和5年度 学校経営計画（案）

宮古島市立久松小学校

I はじめに

これからの教育は、少子高齢化やグローバル化・高度情報化などの急激な変化の中で、未来の担い手となるために必要な「資質・能力」を確実に身に付けさせなければならない。10年後・20年後の社会の変化にも対応し、「生きて働く知識」として身に付けさせる教育を推進していく必要がある。

これらの社会的要請を踏まえ、本校では、支持的風土づくりにより児童が互いを認め支え合う学級経営に努め、言語活動の活性化による自力解決や集団解決等、友達との言語活動による交流を通して課題を多面的に捉えたり、思考を深めながらまとめを書き・説明できる児童の育成を目指す。そのためにも、児童に主体的に考えさせる学習活動を充実させる必要がある。さらに、指導・支援する一人ひとりの職員が使命感を持って日常の授業改善・学校生活について語り合い、資質能力の向上に努めるとともに本校教育課題解決にむけ、全職員協働体制で参画意識を持って学校経営を推進していく必要がある。

令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、様々な教育活動の見直しが行われるとともに、同時に導入されたGIGAスクール構想への対応で、学校現場も大きな転換期となった。児童・教師ともに情報リテラシーや情報モラルの向上が求められるとともに、ICT機器を活用した「個別最適な学び」への対応なども求められる。このような時代だからこそ、10年先・20年先を見越した「学びのあり方」を模索しながら、児童・保護者・地域社会と向き合う学校づくりが求められている。

学校経営の目標・キーワード

目標「一生懸命がかっこいいアトムっ子」の育成 キーワード「一生懸命がかっこいい」

II 本校の教育目標と具現化の指標・具体目標

1 教育目標 「かしこく やさしく たくましく」

- よく考え進んで学ぶ子（かしこく）（知）
- 思いやりの心を持ち助け合う子（やさしく）（徳）
- 健康でたくましい子（たくましく）（体）

2 教育目標具現化の指標（めざす子ども像）

- よく考え進んで学ぶ子（かしこく）：（知）
 - ① めあてを持って、最後まで学習することができる子
 - ② 課題や問題をよくとらえ、進んで学習することができる子
 - ③ 話をよく聞き、わかったことや自分の考えをまとめたり発表することができる子
 - ④ 授業と関連させながら、計画的に家庭学習をすることができる子
 - ⑤ 読書が好きで、進んで本を読むことができる子
- 思いやりの心を持ち助け合う子（やさしく）：（徳）
 - ① 自他の生命を大切にする子
 - ② みんなと仲良く、協力することができる子
 - ③ 相手の気持ちや立場を理解し、広い心で受け止めることができる子
 - ④ 自分の行動に責任を持ち、他人に迷惑をかけない子
 - ⑤ 物を大切にする子
- 健康でたくましい子（たくましく）：（体）
 - ① 健康と安全に気をつけることができる子
 - ② 食事・運動・睡眠のバランスを考えて生活することができる子
 - ③ 運動が好きで体力づくりに励むことができる子
 - ④ 交通の安全やきまりを守ることができる子
 - ⑤ 目標に向かって粘り強くやり遂げることができる子
 - ⑥ 明るく礼儀正しい行動ができる子

3 具体目標

- (1) めざす児童像・・・かしこく、心豊かなでやさしく、心も体も強くたくましく児童
 - ① よく気づき考え行動できる子
 - ② 見通しをもち、自ら進んで学習する子
 - ③ 心豊かで思いやりのある子
 - ④ 健康でたくましい子
 - ⑤ 当たり前のことを当たり前に行える一生懸命がかっこいい子：「凡事徹底」
- (2) めざす学校像・・・安心・安全で楽しく活気があり信頼される学校
 - ① 落ち着いた環境で、生き生きと学習に取り組める学校
 - ② 児童一人一人を大切に、明るく活気に満ちた楽しい学校
 - ③ 礼儀正しく規律のある学校（返礼、立ち止まって挨拶する）
 - ④ 友だちと、共に学びあえる学校
 - ⑤ 児童の成長をめざして、教師・保護者・地域が連携し信頼される学校
- (3) めざす教師像・・・元気で明るく、信頼される教師
 - ① 一人一人を大切に、児童のよさや可能性を見つけ伸ばす教師
 - ② 明朗で優しさと厳しさを持って児童に接する教師
 - ③ 児童と共に汗を流し（師弟同行）、共に行動する教師（率先垂範）
 - ④ 常に研修と自己研鑽に励む教師
 - ⑤ 規範意識が高く、危機管理能力を十分持ち合わせている教師
 - ⑥ 児童や同僚、保護者・地域から信頼される教師

Ⅲ 経営方針

1 学校経営目標

- 「一生懸命がかっこいいアトムっ子」の育成 キーワード「一生懸命がかっこいい」
- ・低学年スローガン「元気が一番 一生懸命がかっこいい」
 - ・中学年スローガン「素直さが一番 一生懸命がかっこいい」
 - ・高学年スローガン「一生懸命がかっこいい 当たり前はもっとかっこいい」

2 本校で育成する資質・能力

「気づく力 ・ 共に学ぶ力 ・ 生かす力」

※ 三つの資質能力を発達段階に応じて、系統立てて「学年で育成する資質能力」表を作成する。

3 本年度の重点目標

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 道徳教育の充実
- (3) 特別活動の充実
- (4) 基本的生活習慣の確立
- (5) キャリア教育の充実

4 基本方針

- (1) 「一生懸命がかっこいいアトムっ子」の育成に繋げるため、全職員協力体制のもと、指導体制の確立と活性化を図る。
 - ① 自立した学習者の育成、言語活動の活性化
 - ア 「書くこと」に重点を置いた指導の充実（板書、ノート、電子黒板、タブレット活用等）
 - イ 「めあて」の立て方、「問い」を持たせる工夫、支援を必要とする児童への配慮
 - ウ 自立解決の時間の設定、対話のある授業への質的転換、児童の思考の交流
 - エ 児童の発表を生かす工夫、「まとめ」の工夫、「振り返り」で完結する授業
 - オ 日常の授業で電子黒板及びタブレット等のICT機器に慣れ親しませ、ICT機器を駆使した授業の実践（GIGAスクール構想の充実）
 - ② 学習環境の整備・・・学習規律の確立、言語環境、教室環境を整える
 - ア 学習規律の確立

- ・久松小学校「学びのスタンダード」の実践
- ・久松小学校「よい子の一日」の実践

イ 言語環境

音声表現…教師の言葉は、最大の言語環境であり、お手本である。

(授業は敬語で、呼名は「さん」付け)

言語活動では、小グループで考えや意見交流の後、思考を深めながらまとめを書き・説明させ、児童に主体的に考えさせる学習活動を展開する。

※ 小中9年間の学びをつなぐ「言語活動の充実に係る系統表」「学びの姿」の実践化を図る。

ウ 教室環境

教室経営の充実・掲示物の有効活用(動きの見える掲示活動、生徒作品の共有)

校舎内外の整理整頓、清掃指導の徹底(まず、教師が気づき・行動する)

- (2) 全職員の協働体制のもと、絶えず創意・工夫を行い、教育目標の具現化を図る。
 - ① 各校務分掌担当者は、関係諸教育施策や校外研修を通して「このような実践をしてみたい」という提案をする。
 - ② マニュアルに頼るのではなく、柔軟性をもって常に創意・工夫に努める。
 - ③ 教育活動の活性化及び学校運営意識を高める為、行事の評価・反省・対応策を次年度に活かす。
 - ④ 学校行事等の実施要項提案の際は、事前・事後指導の徹底を図るため、ねらいの重要ポイントを確認する。
 - ⑤ 本校の課題対策を組み込んだ、校内研修の完全実施・充実を図る。
- (3) 規範意識の確立、危機管理能力の向上
 - ① 社会の常識・マナーを身につけ、時間や物事のけじめある行動(チャイムで黙想「始め」・「終わり」の合図)
 - ② 返礼指導の徹底及び賞状授与・児童代表あいさつ等の指導の徹底
 - ③ 休み時間や放課後のこどもの居場所確認
 - ④ 危機管理の徹底及び働き方改革の推進(ノー残業デーの推進:水曜日)
- (4) 保護者や地域と連携した「凡事徹底」の推進
 - ① 「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣(遅刻をしない)
 - ② 進んであいさつ・聞こえる返事
人との交わりの基本は「あいさつ」に始まる。「あいさつ」の指導は生徒指導の基礎・基本である。
 - ③ はきものそろえ(児童玄関靴箱の靴・トイレのスリッパ)、靴のカカトはつぶさない。
 - ④ 言葉遣い(ありがとう・ごめんなさいが出来る子)
 - ⑤ 返礼の指導(停車して道路の横断を優先した運転手さんへ礼をする)
- (5) 本校における教育活動を保護者や地域に公開し、「開かれた学校づくり」「信頼される学校づくり」を推進する。
 - ① 情報の共有化・報告・連絡・相談の徹底
 - ② 情報公開・管理職と教諭等、異学年との連携、職員と職員、職員と保護者等の連携
 - ア 新入学生保護者説明会、学級(学年)懇談会、個人面談、授業参観等の実施
 - イ 地域人材・地域の教育資源の活用
 - ウ 社会に開かれた教育課程の推進
 - ③ 情報発信・立て看板、学校ブログ更新、メーリング、各種通信等の定期的な発行
 - ④ 各種プロジェクトの推進による魅力ある学校づくりの推進(学校長裁量)
 - ア 立て看板の作成による開かれた学校づくり
 - イ 給食クイズによる「ちょこっとNIE」の実践(令和4年度は放送で対応)
 - ウ スポーツ夢実現プロジェクトによる体力向上
 - エ 賞は自信になる、誇りになるプロジェクトによる検定・コンクール等へのチャレンジ
 - オ 学校リゾート化プロジェクトによる、癒やしの空間づくりと情操教育の推進
 - カ ベルマーク運動の推進および使用済み切手の回収
- (6) 指導体制の強化
 - ① 全職員参画のもとでの教育課程の編成、教育計画、年間指導計画の作成
 - ② 「チーム学校」としての指導体制の確立とRPDCAサイクルに基づいた指導の工夫改善
 - ③ 全職員協働体制を構築するため、ホウレンソウ(報告、連絡、相談)の徹底